

—千里ライフサイエンス新適塾—
「脳はおもしろい」第19回会合

脳から見た認知症

講師：池田 学（いけだ まなぶ）

大阪大学大学院 医学系研究科

情報統合医学 精神医学講座 教授

日時：2018年 1月10日(水) 17:30～20:00

場所：千里ライフサイエンスセンタービル

講演会 6階 千里ルーム A (17:30～19:00)

懇親会 6階 千里ルーム B (19:00～20:00)

講演・懇親会ともに参加費無料

コーディネーター

山本 亘彦 大阪大学大学院生命機能研究科・教授

古川 貴久 大阪大学蛋白質研究所・教授

主催：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1丁目4番2号

千里ライフサイエンスセンタービル20階

E-mail:tkd@senri-life.or.jp Tel:06-6873-2001

財団ウェブサイト <http://www.senri-life.or.jp>

講演要旨：

認知症は、老年期の脳の病気の中では、もっとも頻度が高く、超高齢社会を迎えた日本の最重要課題の一つになっています。最新の全国調査による推計（2012年）では、全国で460万人以上の認知症の方と400万人の認知症予備軍の方がおられることがわかってきました。認知症は、多くの脳の病気が原因となるため、その症状や治療法も様々です。各々の病気によって、特徴的な認知機能障害や精神症状だけでなく、どのような物質が脳に溜まっているのか、あるいは減少しているのか、脳のどの部分の萎縮や血流低下がみられるのか、といったことが最新の脳科学の技術で明らかになりつつあります。本講演では認知症に関する脳科学の成果をまとめ、今後の治療法開発の可能性を考えてみたいと思います。

講師紹介：

学歴・職歴

1984年東京大学理学部卒業。1988年大阪大学医学部卒業。1993年より東京都精神医学総合研究所に国内留学。1994年兵庫県立高齢者脳機能研究センター研究員兼医長。1996年愛媛大学医学部精神科神経科助手（田邊敬貴教授）。2000年よりケンブリッジ大学神経科に国外留学。2007年より、熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野教授。2016年5月より、現職。

2003-2006年には厚生労働省の研究班長として認知症患者の自動車運転に関する研究などに取り組んだ。熊本では、県全域の若年性認知症の実態調査、高次脳機能障害患者の支援ネットワーク構築、うつ病の疫学調査と自殺予防介入プロジェクト、認知症疾患医療センター（熊本モデル）による認知症診療ネットワーク構築などに着手している。2009-2012年より、厚生労働省「かかりつけ医のための認知症の鑑別診断と疾患別治療に関する研究」の研究班長、2012-2015年より、同「認知症のための縦断的連携パスを用いた医療と介護の連携に関する研究」、2015年より同「生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究」の研究班長として活動。

主要研究領域 老年精神医学，神経心理学など

所属学会等

- ・日本老年精神医学会理事
- ・日本神経心理学会理事
- ・日本高次脳機能障害学会理事
- ・International Psychogeriatric Association 理事
- ・Asian Society Against Dementia 理事
- ・日本認知症学会副理事長，
- ・日本神経精神医学会 理事、他

主要著書

- ・池田 学（編著）
日常診療に必要な認知症症候学 新興医学出版社，東京，2014
- ・池田 学（編著）
認知症 臨床の最前線 医歯薬出版株式会社，東京，2012
- ・池田 学
中公新書 認知症 中央公論新社，東京，2010